

# 社会に貢献する労働組合の仕事って、 かっこいいと思います。



31歳のフレッシュマン。「大学を出た頃は就職氷河期で、フリーターも経験しました」

堺市職員労働組合 書記

都宮 亨仁さん

昨年10月に堺市職労の専従書記になりました。市職労が取り組んだ「任期付職員」へのアンケートの集計、分析を担当。対象となる241人の職員のうち、116人から寄せられたアンケート用紙には、雇用への不安や仕事への不満がびっしりと書き込まれていました。「身につまされる思いで読みました。市職労に来るまでは、公務員の仕事は安定していると思っていたんです。この問題を、もっと世間に知らせていかなければ」

「君は間違っていないよ」とはげまされて

労働組合と出会ったのは、以前勤めていた民間会社でのたまたかから。社長を批判す

るメールを同僚とやりとりしたとして「懲戒解雇ものだ」と言われ、退職届にサインをするよう強要されました。「おかしい」と思ってサインを拒み、同僚がネットで調べてくれた大阪労連に電話しました。「君は間違っていないよ」相談に応じてくれた役員がはげましてくれ、勧められて地域労組に加入。1回の回交で、会社は懲戒解雇を撤回しました。「労働組合の力って、すごいと感じたんです」しかし、職場に戻れば組合員は自分一人だけ。社長や上司から壮絶なパワハラ、いじめを受けてメンタル不全になりました。組合としてたたかいた、労災認定をかちとり、会社とは「和解」をしますが、仕事は辞めざるを得ませんでした。

した。「職場に労働組合があったら、問題はもっと未然に防げたのかもしれない」と思っていたときに、紹介されたのが堺市職労書記の仕事。「飛び込んでみるのも、いいんじゃないか」と思いを新たに、自治体労働運動の道に踏み出しました。

組合員だけでなく  
市民のために働くこと

「地域住民の繁栄なくして自治体労働者の幸福はない」―書記になって初めて目にした大阪自治労連のスローガン。「この言葉が大好きなんです。市職労は組合員のためだけにあるのではなく、市民のためにも運動ができる場所なんです。社会に貢献する労働組合の仕事って、とてもかっこいいと思います。自分もそう言われるように、がんばりたいです」と笑顔で決意を語ってくれました。

## 2011春闘 早春の風になって走れ!

第21回大阪自治労連駅伝競走大会で21チームが快走



快晴のもと、75人のランナーが大泉緑地公園を駆け抜けました

大阪自治労連は第21回駅伝競走大会を3月5日に開催し、昨年を上回る21チームが参加。「すべての労働者に賃上げ・雇用確保を!」「中小業者に仕事をまわせ!」と書いたゼッケンを胸に、早春の大泉緑地公園(堺市)を駆け抜けました。一般の部では堺市職労が優勝。レクリエーションの部では「貫一・お宮」に扮した高槻市労組が特別賞を受賞しました。(チームの成績は6頁に掲載)



貫一・お宮の二人脚チーム(高槻市労組)



ゴールテープを切る堺市職労チーム

フアミリーで参加した  
門真市職労チーム

